

東日本大震災津波からの復興と岩手県の男女共同参画について

岩手県環境生活部若者女性協働推進室

1 計画に見る男女共同参画

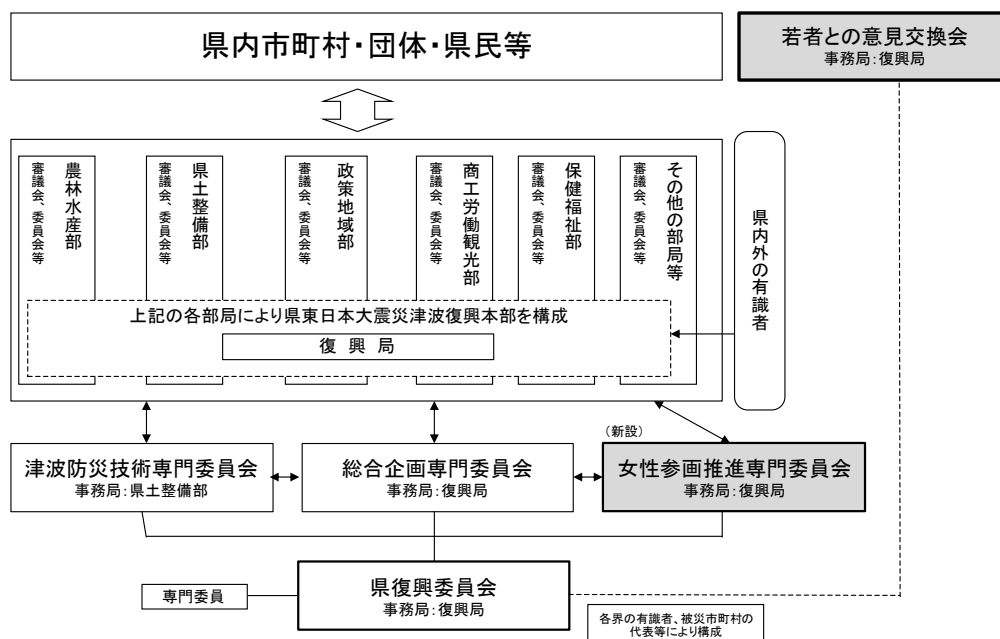
岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画（第2期）（平成26～28年度）（資料2-2）

○ 計画を進めるに当たって重視する視点

「本格復興」を目指す復興実施計画（第2期）では、地域の住民一人ひとりが主役となるとともに、多様な復興主体が連携しながら、地域社会の持続性を重視した取組を進めていくことが重要であると考え、「参画」、「つながり」、「持続性」を重視し、復興の取組を進める。

参画	若者・女性をはじめとした地域住民の幅広い参画により復興の取組を促進
つながり	多様な主体が連携して活動する相乗効果により復興を加速
持続性	地域資源の発掘・活用など地域社会の持続性を重視した取組を推進

○ 計画の推進体制



2 東日本大震災津波に対応した男女共同参画の取組

（1）復興計画策定等における女性の参画について

ア 岩手県東日本大震災津波復興委員会における女性の登用について

① 「委員」への女性の登用について

平成26年11月1日現在、4名の女性が委員として登用されている。

- ・公益社団法人岩手県看護協会会長 兼田 昭子 氏
- ・国立大学法人岩手大学副学長 菅原 悦子 氏
- ・特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会会長 瀬川 愛子 氏

- ・公益社団法人岩手県栄養士会会長 福田 禮子 氏

② 「専門委員」への女性の登用について

平成 26 年 11 月 1 日現在、2 名の女性専門委員が登用されている。

- ・東京大学社会科学研究所教授 大沢 真理 氏（平成 25 年度から）
- ・株式会社まちづくりカンパニー・シープネットワーク 代表取締役、都市計画家
西郷 真理子 氏（平成 23 年度から）

イ 東日本大震災津波からの復興に係る意見交換会の開催と提言への対応について（資料 2-3）

県内の様々な分野で活躍している女性の方々と、復興実施計画（第 2 期）素案について意見交換を行った。（復興局主催）

- ・開催月日：平成 26 年 1 月 9 日（木）
- ・会場：エスポワールいわて
- ・出席者：女性団体関係者（12 名）・復興局など県関係課職員
- ・岩手大学の菅原副学長が取りまとめた「4 つの提言」が出席者の総意として県に提言された。

社会的包摂の視点を踏まえた「参画」による復興に向けて
～復興実施計画（第 2 期）策定にあたっての 4 つの提言～

- ① 女性の参画 30%を確実に
- ② あらゆる関係者への研修を
- ③ 女性相談・女性の起業支援等事業の継続支援を
- ④ ジェンダー統計の徹底を

この提言を受けて、復興局総務企画課総括課長と青少年・男女共同参画課総括課長の連名で、岩手県沿岸市町村復興期成同盟会関係市町村担当部長に対して、参考とされるよう通知した。

ウ 復興委員会女性参画推進専門委員会について（資料 2-4）

復興における女性参画の推進に係る観点から調査・分析・提言等を行うため、平成 26 年 4 月に、岩手県東日本大震災津波復興委員会内に有識者からなる女性参画推進専門委員会（委員 13 人）を設置した。

[任期：H26.4.1～H28.3.31]

氏 名	役職等	備考
菅原 悦子	国立大学法人 岩手大学 副学長	委員長
盛合 敏子	岩手県漁協女性部連絡協議会 会長	副委員長
大沢 伸子	岩手県商工会女性部連合会 副会長	
兼田 昭子	(公社)岩手県看護協会 会長	
熊谷富民子	J A岩手県女性組織協議会 会長	
佐賀 敏子	盛岡市立杜陵小学校 校長	
瀬川 愛子	(特非)岩手県地域婦人団体協議会 会長	
長野えり子	(一社)岩手県歯科医師会 理事	
平賀 圭子	(特非)参画プランニング・いわて 理事長	
福田 禮子	(公社)岩手県栄養士会 会長	
村松 文代	株式会社アイビーシー岩手放送 報道局アナウンス部・報道部 専任部長	
山屋 理恵	(特非)インクルいわて理事長	
両川いずみ	(特非)いわて子育てネット 副理事長兼事務局長	

【第1回女性参画推進専門委員会】

- ・開催月日：平成26年7月11日（金）
- ・会場：水産会館大会議室
- ・出席者：委員（13人）、復興庁職員、知事、復興局など県関係職員
- ・内容：「いわて復興レポート2014」（素案）について審議を行った。

エ 市町村の復興委員会等における女性委員の登用について（資料2-5）

沿岸12市町村のうち、復興委員会等において女性委員を登用しているのは、7市町村となっている。

（2）その他の復興に向けた県の取組について

ア 男女共同参画の視点からの防災・復興に関する普及啓発事業について

沿岸地域において、男女共同参画の視点からの防災・復興に関する講演会及びワークショップを行うことにより、防災や復興に男女共同参画の視点を持って取り組む地域住民等を増やし、もって復興が加速することを目的とする（平成25年度9月補正予算及び平成26年度当初予算事業）。

対象者：地域住民、男女共同参画サポーター、自治会役員、生活支援員、市町村職員、社協職員、県職員等

【平成25年度】

講演：「男女共同参画の視点からの防災・復興について」

ワークショップ：「みんなで考える男女共同参画の視点からの防災・復興」

①釜石市

- ・開催日 : 平成 26 年 1 月 23 日 (木)
- ・会場 : 岩手大学釜石サテライトセミナー室
- ・講演講師: 岩手大学男女共同参画推進室 准教授 堀久美さん
- ・WS 講師: 内閣府審議官 (男女共同参画担当) 別府充彦さん
内閣府男女共同参画局総務課 土井真知さん
- ・参加人数: 30 人

②宮古市

- ・開催日 : 平成 26 年 1 月 24 日 (金)
- ・会場 : 男女共生推進センターフラットピア宮古
- ・講演講師: 岩手大学男女共同参画推進室 准教授 堀久美さん
- ・WS 講師: 内閣府審議官 (男女共同参画担当) 別府充彦さん
内閣府男女共同参画局総務課 土井真知さん
- ・参加人数: 46 人

③久慈市

- ・開催日 : 平成 26 年 1 月 30 日 (木)
- ・会場 : 久慈市市民文化ホール会議室
- ・講演講師: 岩手大学男女共同参画推進室 准教授 堀久美さん
- ・WS 講師: 復興庁男女共同参画班上席政策調査官 薄井篤子さん
- ・参加人数: 28 人

講演:「ジェンダー、多様性の視点を重視した復興のあり方」

ワークショップ:「みんなで考える男女共同参画の視点からの防災・復興」

大船渡市

- ・開催日 : 平成 26 年 2 月 15 日 (土)
- ・会場 : 大船渡地区合同庁舎大会議室
- ・講演講師: 東京大学社会科学研究所 教授 大沢真理さん
- ・WS 講師: 復興庁男女共同参画班上席政策調査官 薄井篤子さん
- ・参加人数: 25 人

【平成 26 年度】

講演:「男女共同参画の視点からの防災・復興について」

ワークショップ:「みんなで考える男女共同参画の視点からの防災・復興」

①一関市

- ・開催日 : 平成 26 年 9 月 24 日 (水)
- ・会場 : 一関市川崎公民館
- ・講演講師: 岩手大学男女共同参画推進室 准教授 堀久美さん
- ・WS 講師: 復興庁男女共同参画班主査 石原浩樹さん
復興庁男女共同参画班 政策調査官 山田由理子さん
- ・参加人数: 37 人

②大槌町

- ・開催日 : 平成 26 年 10 月 29 日 (水)

- ・会場 : 大槌町役場大会議室
- ・講演講師：岩手大学男女共同参画推進室 准教授 堀久美さん
- ・WS講師：復興庁男女共同参画班主査 石原浩樹さん
復興庁男女共同参画班 上席政策調査官 薄井篤子さん
- ・参加人数：37人

イ 岩手県男女共同参画センター事業について

- ① いわて男女共同参画フェスティバルにおいて、復興関係の分科会の開催やパネルの展示を行い、被災地の現状と課題について学ぶ機会を提供した。

【平成 25 年度】

- 分科会 5 講話「被災地の子どもの現状と家庭支援」
(社福) 大洋会児童家庭センター大洋 心理療法士 船野克好さん
- 分科会 6 講演「3.11 から学んだこと わたしたちができること」
(株) 高田自動車学校代表取締役社長 田村満さん
- 展示 1 「復興における男女共同参画」(復興庁男女共同参画班)

【平成 26 年度】

- 分科会 5 パネルディスカッション「悩んでいませんか？復興まちづくり」
パネラー ・岩手県復興局復興推進課推進協働担当課長 菊池学さん
・岩手県東日本大震災津波復興委員会女性参画推進専門委員会委員／特定非営利活動法人いわて子育てネット
両川いずみさん
・仙台市総務局国連防災世界会議準備室主査 天野美紀さん
・公益社団法人福島県建築士会会員 一級建築士
菅野真由美さん
- 展示 1 「復興における男女共同参画」(復興庁男女共同参画班)

- ② 男女共同参画サポーター養成講座において、防災・減災に関する講座を一般にも公開して開催し、男女共同参画の視点からの復興・防災について学ぶ機会を提供した。

【平成 25 年度】

- 「復興・減災における男女共同参画～災害時になぜ女性の視点・参画が必要なのか」
東日本大震災女性ネットワーク 運営委員・研修コーディネーター
浅野幸子さん
世話人 丹羽雅代さん

【平成 26 年度】

- 「復興・減災における男女共同参画」
○男女で異なる被災経験と東日本大震災後の政策動向など(講義)
○避難所運営・被災者支援のシミュレーション&意見交換
減災と男女共同参画研修推進センター
共同代表、プロジェクト・コーディネーター 浅野幸子さん

③ 東日本大震災からの振り返りと女性の視点で今後の復興や防災を考えるため、男女共同参画センター職員が沿岸被災地に出向いて、講演会や映画上映会を行い被災者との交流を図った。

- ・ 平成 26 年 2 月 11 日（火） 大船渡市シーパル大船渡（講演）
- ・ 平成 26 年 2 月 23 日（日） 陸前高田市キャピタルホテル 1000
（映画上映会とトークディスカッション）

ウ 内閣府 平成 26 年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業について

内閣府男女共同参画局において、東日本大震災による女性の様々な不安や悩み、女性に対する暴力に関する相談事業を、全国の NPO や男女共同参画センターなどの相談員を派遣し実施しており、本県では全国で最も早い平成 23 年 5 月 10 日から実施されている。

県では本相談窓口の周知等について協力を行っている。

【相談件数】

H23.5.10～H24.2.10	705 件（3 拠点）
H24.2.11～H24.3.31	322 件（4 拠点）
H24.4.1～H25.3.31	1,283 件（4 拠点）
H25.4.1～H26.3.31	1,376 件（2 拠点）

【出典】内閣府男女共同参画局東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業 報告書

内閣府男女共同参画局トップページ

→主な政策

→災害対応

→東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業 報告書

<http://www.gender.go.jp/policy/saigai/bo-reports.html>